



糸河よりおみくきいしを
唐の島よととと

世生蓮

うしちのり地をゆく管のふ

鮎うとつう此葉をそそおも葉尾

智名山指をのりおんそりる春

らきらうらへは雪乃片つ了李牧

心坊を死かえて此の櫻井つら一抄

みやふのそる若の望まより多佛

ちくくと月まらるる柳ゆ竹ま坊

解小子供をのり昔の水も柳丸

一かこおまのりおふたすのきん圃寺

暮ららるやいとるん苗く阿青

右一順

あきと池源の破輪ふまの人 京眉山

柳丸おまのりおふたすのきん圃寺 世生蓮

成のり 中夏 カ、金沢

東海より好みくきこしと
席の鳥よととと

世に世に

うさむのり地をゆく道ゆき

鮎うさむ此葉をまねも葉を

智多山指系の下ハ出たさうる来

らきうふくは雪乃けつ李牧

山坊まねかえて出く羅布巾ら一抄

みやふのる若くはまきり多佛

ちくくと月さうる柳少竹三枝

解小子ねまの春の水と柳丸

一かこおきうおふたすいん圃寺

暮らうらやと房ん苗く阿青

右一順

かきと也源の破頼ふまの人 京眉山

中丸ふねこ子を包とつと 井草尾
すもろ

成の〜 中夏 カ、金沢

